

疾病の成り立ちと回復の促進【病 理 学】

担当教員	齊藤 昌宏 高橋 さつき 高橋 真帆	所 属	平鹿総合病院 〃
対象学年/開講時期	第1学年/後期	単位数(時間数)	1単位(30時間)
履修の目的 病理・病態生理学の意義を理解し、病因・病変の特徴などについて学び、病気の形成に関する 共通知識を学ぶ。			
履修目標 1) 病気の成り立ちを臓器、組織、細胞の変化(病変)を通して学ぶ。 2) 重要な病気を例に取り、それらを原因と経過を理解する。			
授業の形式 主として講義形式で行い、また、視聴覚教材も活用する。			
成績評価の基準等 出席・テストを総合的に評価する。			

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	はじめの一步の病理学	羊土社

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	ガイダンス 病理学	肝硬変の主な原因を挙げ、なぜ生命に危険かを理解	①	齊 藤
第2回	細胞、癌	上皮細胞の種類を確認する、胃癌のボールマン分類	①	
第3回	腫瘍	腫瘍の定義と分類を説明し、形態発育	①	高 橋
第4回	細胞傷害	細胞変性、壊死、萎縮、褥創	①	齊 藤
第5回	循環傷害	心筋梗塞、狭心症、動脈瘤	①	
第6回	循環傷害	粥状硬化症、塞栓症、傍側循環	①	
第7回	浮腫	浮腫の起こる原因とその具体例、ネフローゼ症候群	①	
第8回	脳卒中	脳底動脈の分布を確認し、脳卒中の原因と分類	①	
第9回	先天異常	環境要因、染色体の異常、遺伝子異常、多因子遺伝	①	高 橋
第10回	先天異常	染色体異常と遺伝子レベルの異常	①	
第11回	修復と再生	肉芽組織と組織の異物の処理、肥大と過形成、化生	①	
第12回	感染症	エイズ、真菌、原虫感染	①	
第13回	炎症	胞巣織炎、膿瘍、乾酪化、炎症細胞	①	
第14回	腫瘍	病変臓器を観察して腫瘍組織の肉眼像、転移の様子	①	
第15回	まとめ		①	齊 藤
修 了 試 験				